

学 校 教 育 目 標

伝統ある明倫館の学風および松陰先生の教育精神に
学び、さらに格調高き明倫教育の創造に努め、もって
国家社会の形成者となる有能な人間の育成を図る

～ 人としての生き方を学び、共に高まりあう子どもの育成 ～

学 校 教 育 目 標

高い志をもち 進んで取り組みやりぬく子

～ 「萩藩校明倫館の学風」と「松陰教学」を基底にして ～

学校教育目標について

学校教育目標は、子どもにとって理解しやすく、子ども自身の身近なものでなければなら
ないと考えている。それは、学校教育目標が表面的な存在ではなく、子どもたち一人ひとり
にとって、すべての教育活動を行うときに意識できる存在でなければならないからである。
具体的にいえば、子どもたち一人ひとりが自分（萩市立明倫小学校）の学校教育目標を自信
をもって言えるようになってほしい。

ついでに、これまで先人が築いてこられた萩市立明倫小学校の歴史と伝統を大切にしつつ、
新たな価値（「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」など）を見出
すような目標に変えていく必要があると考えた。さらに、萩市立明倫小学校の教育の2つの
基底である「萩藩校明倫館の学風」と松陰先生の教育精神である「松陰教学」をしっかりと
引き継ぎ発展させていくため、上記のような学校教育目標を設定した。

『高い志をもち』とは、自分のことはもちろんであるが、学校や自分の住んでいる地域（ふ
るさと）のため、さらには日本のためという国家社会の形成者となるような人材を育成す
る基盤となるものである。 **【立志・ふるさとを愛する心・憤悱啓発】**

『進んで取り組みやりぬく子』とは、目標に向かって、主体的に見通しをもち、他者とよ
りよくかかわりながら、最後までねばり強くやり遂げる姿をいう。自他のよさを認めつつ、
真に学びの価値や楽しさを自ら求めるような子どもを育みたいと考えている。

【成徳達材・進取の気風・至誠・知行合一】

この目標は、新しい教育課程が求めている「様々な変化に積極的に向き合い、他者と協働
して課題を解決していくことや様々な情報を見極め知識の概念的な理解を実現し、情報を再
構成するなどして新たな価値につなげていくこと、複雑な状況変化の中で目的を再構築す
ること」や新たな学びの方向性である「主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)」
ともリンクするものである。

上記のような理由により、令和2年度から新しい学校教育目標のもとで教育活動を展開し
たいと考えている。

※【 】内は、萩藩校明倫館の学風と松陰教学にかかわる内容を示している。